



KANAZAWA SEIRYO UNIVERSITY

金沢星稜大学



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

かなざわ せいりょう

金沢星稜大学の学生が道の駅を通じて地域活性化を提案します

国土交通省は「道の駅」における大学との交流・連携を全国で進めています。

その一環として、今夏、金沢星稜大学の学生が道の駅「めぐみ白山^{はくさん}」をフィールドに、白山市の地域活性化に向けた調査研究を実施しました。

このたび調査研究の成果がまとまりましたので発表会を開催します。

- 目的：「道の駅」を拠点とした白山市の地域活性化
- 日時：令和元年10月31日(木) 13:30~15:00
- 場所：金沢星稜大学 A棟(講義棟)6階 A61教室

- プログラム：① 交通量調査
- ② 道路案内表示調査
- ③ 顧客定点調査
- ④ 物販コーナー調査
- ⑤ 持続可能な開発目標(SDGs)商品調査
- ⑥ SDGsの認知度調査及び情報発信

※学生の講義の都合により、発表の順番が変更になる場合があります。

- 主催者：金沢星稜大学

※発表会は、下記のとおり公開致します。

- ・会場の都合により一般の方の傍聴はできませんのでご了承下さい。
- ・報道関係者を対象に公開します。(傍聴・取材可)
- ・報道機関によるカメラ撮りについては、冒頭から閉会挨拶までとします。
- ・事前申し込みは不要ですが、駐車スペースはありませんので、公共交通機関等をご利用下さい。

【お問い合わせ先】

- 発表内容に関する問合せ：金沢星稜大学経済学部 教授 しん ひろあき 新 広昭
ごしょまちうし
住所 金沢市御所町丑10番地1
TEL:076-253-3924(代表) FAX:076-253-3995

- 制度に関する問合せ：金沢河川国道事務所 建設専門官 つきだ たかし 月田 孝
さいねん
住所 金沢市西念4丁目23番5号
TEL:076-264-9918(道路管理第二課直通) FAX:076-233-9632

会場のご案内

会場：金沢星稜大学 A棟(講義棟)6階 A61教室

かなざわ ごしまち うし
〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1



出典: 国土地理院

道の駅「めぐみ白山」での現地調査 令和元年9月5日・6日



来客者調査の様子



商品内容調査の様子

※現地調査の写真は提供可能です。



かなざわ せいりょう はくさん
金沢星稜大学生が道の駅「めぐみ白山」で地域活性化を考えます

- 国土交通省が全国で進めている道の駅と大学との交流・連携の一環として、金沢星稜大学、道の駅「めぐみ白山」及び金沢河川国道事務所の3者が協力し、道の駅をフィールドに大学生が調査を行います。
- 平成30年度から今回で2年目となるため、昨年の調査結果を踏まえ、より実情に沿った継続調査とともに、新たなテーマの新規調査を実施する予定です。
- この取り組みは、観光・地域づくりを担う将来の人材を育成するとともに、道の駅が地域活性化の拠点として更に進化を遂げるため、大学生が道の駅の付加価値を創出するための企画・立案等を実施するものです。

【主な調査内容】

- ① 交通量調査【継続調査】
 - ② 道路案内表示調査【継続調査】
 - ③ 顧客定点調査【新規調査】
 - ④ 物販コーナー調査【継続調査】
 - ⑤ 持続可能な開発目標(SDGs)商品調査【新規調査】
 - ⑥ SDGsの認知度調査及び情報発信【新規調査】
- ※詳細については別紙「参考資料」をご覧ください。

【調査担当者】

金沢星稜大学経済学部 あおき
新ゼミナール3年(14名)、青木ゼミナール2年(16名)【予定】

【スケジュール】

9月5日(木)～6日(金)の2日間に現地調査を行います。
・5日(木) 13:00頃～17:00頃
・6日(金) 9:30頃～12:30頃

【当日取材をされる報道関係の皆様へ】

道の駅「めぐみ白山」の道路情報コーナーまで5日(木)13:00にお集まりください。

はくさん みやまるまち

道の駅「めぐみ白山」の住所 : 〒924-0033 石川県白山市宮丸町2183

【問い合わせ先】

●実施内容に関する問合せ

- ・金沢星稜大学経済学部 教授 しん ひろあき 新 広昭
TEL:076-253-3924(代表)
- ・白山市 産業部 道の駅推進室 室長 おおやぶ きよし 大藪 清史
TEL:076-274-9539(産業部 道の駅推進室直通)

●「道の駅」と大学との連携に関する問合せ

- ・金沢河川国道事務所 建設専門官 つきだ たかし 月田 孝
かなざわ さいねん
金沢市西念4丁目23番5号
TEL:076-264-9918(道路管理第二課直通)FAX:076-233-9632



道の駅「めぐみ白山」と金沢星稜大学との連携

参考資料

【調査内容】

①交通量調査【継続調査】

道の駅「めぐみ白山」を利用する方に対して、どこから訪れたか聞き取りによるアンケート調査を実施する。

②道路案内表示調査【継続調査】

道路案内表示の中で道の駅「めぐみ白山」に関するものの視認性や有効性を調査する。

③顧客定点観測【新規調査】

道の駅施設内の商品陳列棚の前を利用者がどのように利用するかを定点観測で調査する。

④物販コーナー調査【継続調査】

物販コーナーで販売されている白山市の特産品を把握すると共に、購買量や陳列・販売方法等に対する評価を行い、新たな商品開発や既存商品のリニューアルに繋げる。

⑤持続可能な開発目標(SDGs)^{※1}商品調査【新規調査】

白山市は「SDGs未来都市」^{※2}に選定され、環境に調和した持続可能な経済発展や豊かな生活の実現を目指している。物販コーナーで販売されている商品をSDGsの17目標に関連づけ、その結果のPOP広告を作成・掲示することにより、商品の社会的価値をアピールする。

⑥SDGsの認知度調査及び情報発信【新規調査】

白山市が「SDGs未来都市」に選定されていることやSDGsの認知度をアンケート調査し、あわせてSDGsの情報発信を図る。



大学生が道の駅「めぐみ白山」の入り口で利用する方にアンケートを実施【昨年】



大学生が道の駅「めぐみ白山」で商品内容・展示方法等の現状調査【昨年】



道の駅「めぐみ白山」

※1 持続可能な開発目標(SDGs)

SDGs: Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193ヶ国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

※2 SDGs未来都市

2018年6月15日、公募の結果、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する29都市を「SDGs未来都市」として内閣府が選定しました。